

施策評価シート

幹事部局

防災部

施策の名称	VIII-1-(2) 危機管理体制の充実・強化
施策の目的	発生が予測できないテロ事件や新興感染症などの危機に対し、迅速・的確に対処できるように体制を充実・強化し、県民の生命、身体及び財産の被害を最小限にします。
施策の現状 に対する評価	<p>①(危機管理体制の充実・強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平時からの情報収集や関係各課との連絡体制の確認と強化に努め、北朝鮮によるミサイル発射事案などの危機管理事案発生時において、迅速に対応することができている。 <p>②(テロ対策等の充実・強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 武力攻撃や大規模テロ行為などの発生に備え、消防・警察・自衛隊等と連携して訓練形式の研修を実施し、市町村が緊急情報の伝達方法や住民の避難誘導方法等についての対応手順を作成することを支援した。この研修により全ての市町村で作成が進んだが、今後は国民保護事案に応じた複数パターンの対応手順の作成も必要である。 <p>③(感染症対策の充実・強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナについては、国の基本的対処方針や県内と全国の感染状況に応じ、県民に対し感染拡大地域への移動制限、飲食店等の利用人数や時間の制限等の要請を対策本部会議で決定し、感染拡大防止に取り組んだ。 ・ 新型コロナ患者の受入に必要な感染症指定医療機関等の病床確保及び施設設備整備を支援し、感染症発生時の適切かつ迅速な医療を提供する体制の整備が進んだ。 ・ 保健環境科学研究所及び浜田保健所の体制が強化され、医療機関や民間検査機関における検査機器の導入が進んだほか、抗原定性キットの普及もあり、感染拡大時に一定の検査能力は確保された。 ・ 新型コロナの5類への位置づけ変更に伴い、幅広い医療機関が対応する医療提供体制への円滑な移行をめざす上で、外来診療に対応する医療機関の拡充、円滑な入院調整が課題である。 ・ 新たな感染症発生時の対応のため、医療提供体制の整備、保健所の体制強化が課題である。 ・ 感染症や気象災害等の対応により、家畜伝染病の緊急防疫業務にあたる動員者が十分に確保できない場合の想定が不十分であり、早急に体制を検討することが課題である。
今後の取組 の方向性	<p>①(危機管理体制の充実・強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北朝鮮によるミサイル発射事案や核実験の実施など、危機管理事案の発生に迅速に対応する体制を維持する。 <p>②(テロ対策等の充実・強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 武力攻撃や大規模テロ行為などの事案発生に備えた初動体制の整備を図るため、引き続き、関係機関と共同で訓練形式の研修を実施し、市町村が迅速な対応を行うための複数の対応手順の作成と充実を支援する。 <p>③(感染症対策の充実・強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナの感染状況の変化や新たな変異株の発生等に迅速かつ的確に対応するため、「島根県新型インフルエンザ等対策会議」を設置し、各部局と連携して必要な対応を行う。 ・ 新型コロナの5類への位置づけ変更に伴い、外来医療については、外来対応医療機関のさらなる拡充に取り組み、入院医療については、医療機関間での入院調整を原則とし、病床逼迫時に備えて入院調整本部は当面の間継続する。 ・ 新型コロナ対応での教訓を踏まえ、改正感染症法に基づき、県と医療機関との間で病床や発熱外来、自宅療養者等への医療提供等について、医療措置協定を締結し今後の新興感染症発生・まん延時に備えた体制整備を図る。 ・ 今後の国の感染症危機への対応にあわせ、新たな感染症等の発生時の保健所業務の効率化、専門職の確保などに取り組み、体制強化を図る。 ・ 家畜伝染病の緊急防疫業務動員者が減少しても実行可能な防疫体制を検討する。

事務事業の一覧

施策の名称	Ⅷ-1-(2) 危機管理体制の充実・強化				
-------	----------------------	--	--	--	--

	事務事業の名称	目的		前年度の 事業費 (千円)	今年度の 事業費 (千円)	所管課名
		誰(何)を対象として	どういう状態を目指すのか			
1	危機管理対策事業	県民	危機管理事案発生時に県民の生命、身体及び財産を保護する。	4,409	8,037	防災危機管理課
2	感染症の医療体制整備事業	感染症法に基づく入院治療を必要とする、一類感染症、二類感染症、新型インフルエンザ及び指定感染症の患者、並びに新感染症の所見がある者	適切な治療をし、感染症のまん延を防止する	583,035	276,072	感染症対策室
3	家畜疾病危機管理対策事業	畜産に係る生産者等	家畜伝染病が発生した場合に、即時にまん延防止対策等の危機管理対応ができることを目指す。	18,400	200,000	畜産課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

防災危機管理課

事務事業の名称		危機管理対策事業			
目的	誰(何)を対象として	県民	事業費 (千円)	令和4年度の実績額	令和5年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	危機管理事案発生時に県民の生命、身体及び財産を保護する。		4,409	8,037
			うち一般財源 (千円)	4,158	5,990
令和5年度の取組内容		<ul style="list-style-type: none"> 武力攻撃事態やテロ事案発生時において、県民の生命、財産、身体を守るため、島根県国民保護計画に基づき、迅速かつ適切に国民保護措置を実施できるよう体制整備や訓練等を行う。 北朝鮮の弾道ミサイル発射事案や鳥インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等の危機管理事案について、情報を共有し、迅速に応急対策等を実施するため、危機管理連絡会議や対策会議を開催する。 県西部地域での米軍機による飛行訓練に伴う騒音被害について、5市町(浜田市、益田市、江津市、川本町、邑南町)に設置した騒音測定器による実態把握や騒音被害の解消について、市町と連携し、国への要望活動等を行う。 			
令和4年度に行った評価を踏まえて見直したこと		<ul style="list-style-type: none"> 国民保護訓練において、避難実施要領パターン未作成市町に対し研修会と図上訓練を同日に開催することで、専門的な知識の習得と同時に、具体的な作成方法を理解できるよう研修・訓練を実施し、避難実施要領パターンの作成に繋がった。 想定される事案発生時に迅速に対応できるよう情報収集に努めるとともに過去の対応状況の確認や関係課との調整を行った。 			
1	上位の施策	VIII-1-(2) 危機管理体制の充実・強化	3	上位の施策	
2	上位の施策		4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	国民保護事案発生を想定した対応手順(避難実施要領のパターン)作成市町村数(H17年度からの累計) 【前年度3月時点】	目標値		11.0	13.0	15.0	19.0	19.0	市町村	累計値
		実績値	9.0	9.0	14.0	19.0				
		達成率	—	81.9	107.7	126.7	—	—		
2		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		<ul style="list-style-type: none"> 危機管理事案発生時に迅速かつ適切に対応するため、関係課連絡会議の開催や各種訓練を実施し、庁内各部署・市町村・関係機関等との役割分担や情報伝達方法等を確認した。(主な対応) 国民保護共同訓練の実施(飯南町、邑南町)、北朝鮮による弾道ミサイルの発射事案への対応(対応回数:32回)、鳥インフルエンザへの対応(関係課連絡会:10回)、新型コロナウイルス感染症への対応(対策本部会議:28回) 								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	<ul style="list-style-type: none"> 国民保護等の各種訓練の実施により、職員の危機管理意識と対応能力の向上が図られたことや、北朝鮮の弾道ミサイル発射などの危機管理事案発生時において、平時から情報収集や連絡体制の確認に努めたことにより、迅速に対応できた。 新型コロナウイルス感染症対策実施のため、島根県対策本部会議において、県の対応方針等を決定し、各部署が連携して、迅速に対応した。
課題分析	① 課題	<ul style="list-style-type: none"> 市町村の国民保護における避難実施要領パターン作成には、関係機関との調整に時間を要すること等から、複数パターンの作成ができていない。 北朝鮮によるミサイル発射事案など、突発的な危機管理事案に、迅速に対応する体制を維持する必要がある。 新型コロナウイルス感染症のように、これまで経験したことがない危機管理事案への対応が課題。 飛行訓練による騒音被害については、過去最大の件数となった。
	② 原因	<ul style="list-style-type: none"> 避難実施要領パターン作成には、想定される発生事案の絞り込みなどの事前検討や、テロ対策などの専門的知識や警察・自衛隊など関係機関との調整に時間を要する。 北朝鮮による弾道ミサイル発射事案など突発的な危機管理事案が、かつてない頻度で発生している。 新型コロナウイルスの感染症法上の位置付け変更により、行政の関与から個人の自主的な取り組みによる対応となった。 米軍機による騒音被害の実態について、国より、米国側に伝達されているが、依然として解消されない。
	③ 方向性	<ul style="list-style-type: none"> 避難実施要領パターン作成については、消防庁との共同訓練により、複数パターンの作成に向けて市町村を支援する。 想定される事案に対しては、平時から積極的な情報収集に努める。 発生した事案への対応や各種訓練等における検証を通じ、対応マニュアルの整備、見直しに努める。 各種訓練等により、市町村・関係機関等と役割分担や情報伝達等を確認し、連携強化に努める。 新型コロナウイルス感染症への対応については、健康福祉部と連携して必要な対応を行う。 米軍機による騒音被害の実態把握のため、騒音測定を継続し、関係市町と連携して、国に対して要請活動等を行う。

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課

感染症対策室

事務事業の名称		感染症の医療体制整備事業			
目的	誰(何)を対象として	感染症法に基づく入院治療を必要とする、一類感染症、二類感染症、新型インフルエンザ及び指定感染症の患者、並びに新感染症の所見がある者	事業費 (千円)	令和4年度の実績額	令和5年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか			583,035	276,072
		適切な治療をし、感染症のまん延を防止する	うち一般財源 (千円)	551,972	266,337
令和5年度の取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・第一種及び第二種感染症指定医療機関について整備し、感染症患者に対する適切な医療の提供及び感染症のまん延防止のため、医療機関に対して運営費の補助等を行う ・新型インフルエンザの発生に備えた体制の整備、維持を行う 			
令和4年度に行った評価を踏まえて見直したこと		<ul style="list-style-type: none"> ・抗インフルエンザ薬等について、国の備蓄計画に基づき備蓄を進めるとともに、備蓄スペースの確保と整備を進め、廃棄分の計画的な処分を行う 			
1	上位の施策	VIII-1-(2) 危機管理体制の充実・強化	3	上位の施策	
2	上位の施策		4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	第一・二種感染症指定医療機関確保率【当該年度4月～3月】	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	単年度値
		実績値	100.0	100.0	100.0	100.0				
		達成率	—	100.0	100.0	100.0	—	—		
2		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関に対し空床補償費等を補助し、感染症病床を確保・運営している(第一種感染症指定医療機関:1箇所2床(陰圧100%)、第二種感染症指定医療機関:7箇所28床(陰圧100%)) ・新型インフルエンザ発生時の入院病床として212床を確保している ・新型インフルエンザ発生時の帰国者接触者外来に21医療機関を指定している ・国の抗インフルエンザ薬の備蓄目標92,900人分に対し、106,200人分確保している ・新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から5類に位置づけ変更された。 								

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症病床について適正に確保するとともに、新型コロナウイルス感染症の入院病床として活用している ・新型インフルエンザの発生に備え、医療提供体制の確保、抗インフルエンザ薬等の備蓄・更新等を行っている ・新型コロナウイルス感染症の5類への位置づけ変更に伴い、幅広い医療機関が対応する医療提供体制への円滑な移行を進めている
課題分析	① 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・抗インフルエンザ薬や防護服等の備蓄スペースが不足している ・使用期限を迎えた防護服等の有効活用・廃棄が必要 ・位置づけ変更に伴い幅広い医療機関が対応する医療提供体制への円滑な移行をめざす上で、外来診療に対応する医療機関の拡充、円滑な入院調整が課題である
	② 原因	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対応にかかる物資等の増加により、保管スペースが不足 ・防護服等の備蓄品は、新型インフルエンザ等の発生がないまま、経年劣化がすすんでいる
	③ 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄している抗インフルエンザ薬について、新たな備蓄スペースの確保や処分を計画的に行う ・使用期限を迎えた防護服等については、訓練での活用や無償譲渡に努めるとともに、今後は在庫を回転させて無駄に使用期限を迎えないような在庫管理の方法を検討する ・外来医療については、外来対応医療機関のさらなる拡充に取り組み、また入院医療については、医療機関間での入院調整を原則とし、病床ひっ迫時に備えて入院調整本部は当面の間継続する

事務事業評価シート

1 事務事業の概要

担当課	畜産課
-----	-----

事務事業の名称		家畜疾病危機管理対策事業			
目的	誰(何)を対象として	畜産に係る生産者等	事業費 (千円)	令和4年度の実績額	令和5年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	家畜伝染病が発生した場合に、即時にまん延防止対策等の危機管理対応ができることを目指す。		18,400	200,000
			うち一般財源 (千円)	14,388	128,000
令和5年度の取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・防疫措置が速やかに実施できるよう、防疫研修を実施。また、備蓄資機材の増強等を行う。 ・市町村と防疫体制を整えるため「特定家畜伝染病の防疫対策に関する協定」を締結 ・防疫措置計画の再点検 			
令和4年度に行った評価を踏まえて見直したこと		<ul style="list-style-type: none"> ・全庁からの動員者が確保できないことを想定した防疫措置計画の策定 ・市町村と防疫体制を整えるため「特定家畜伝染病の防疫対策に関する協定」の締結を検討 ・焼却埋却候補地の再点検の実施 			
1	上位の施策	I-1-1(1) 農業の振興	3	上位の施策	
2	上位の施策	VIII-1-1(2) 危機管理体制の充実・強化	4	上位の施策	

2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	和牛子牛生産頭数【当該年度4月～3月】	目標値		7,700.0	8,100.0	8,500.0	8,900.0	9,300.0	頭	単年度値
		実績値	7,522.0	7,846.0	8,004.0	8,140.0				
		達成率	—	101.9	98.9	95.8	—	—		
2	特定家畜伝染病防疫指針の対象8疾病の発生例数【当該年度4月～3月】	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	例	単年度値
		実績値	0.0	0.0	0.0	0.0				
		達成率	—	—	—	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実										

3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	・新型コロナ対応の影響により想定している動員が確保できない可能性が出ているため、全庁動員体制の見直しを実施
課題分析	① 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の防疫措置は全庁からの最大限の動員、かつ、大規模農場では自衛隊からの派遣も前提とした24時間体制での計画としているが、実現性に疑義が生じる状況 ・他県で発生に備えた埋却候補地が使用できず防疫措置に支障が発生。
	② 原因	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ対応による全庁動員体制が困難な状況 ・また、防疫措置における自衛隊派遣要請は、緊急性かつ自県で最大限動員対応したうえでの応援要請するよう勧告されている状況 ・埋却予定地で湧き水の発生等の事象が発生
	③ 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・動員体制見直しを反映した防疫措置を検討 ・埋却候補地を再点検するとともに、必要に応じ試掘も検討